

鎌倉街道上道を歩く 第6回

＜相鉄線瀬谷～ゆめが丘＞

距離約 11km

1. 日時 2015年6月25日(木)
雨天の場合は 7月9日(木)
2. 集合場所 所沢駅 階段下池袋線ホーム
3. 出発時間 8時22分発 中華街行きに乗車(8:15集合)
4. 昼食 12:00頃 不二家レストラン
5. 帰着予定時間: 所沢駅 18:00頃



8:22 所沢ー9:43 横浜 9:51ー10:10 瀬谷着

コースガイド

世野ヶ原（現在の瀬谷）は新田義貞が、20万を越える勢力の陣揃えをして鎌倉攻めの準備をしたところ。ここが今日のスタートです。

- ① **世野の原(せやのはら)の鷹見塚**：相模国4郡の鷹狩指揮所の1つとして築かれたもの。生類あわれみの令で一時狩りを禁止されたものの、その後復活し幕末まで使われました。



- ② **宝蔵寺**：平安時代末期治暦2年（1066）に建てられた不動堂を始まりとするお寺です。歴代徳川将軍の位牌があるほか、徳川3代将軍家光により御朱印を賜わり、拝領した籠なども現存。境内には瀬谷八福神の石造の弁天様のほか、千支のお守りご本尊なども祀られています。



- ③ **西福寺**：猿応山西福寺は真言宗豊山派の寺で、天文3年（1534年）の創建と伝えられます。瀬谷八福神のうち布袋尊が祀られています。

西福寺の千年椎（横浜市名木・古木）樹齢：600年、幹周り：5.6mもある。



- ④ **左馬(さば)社**：境川流域には「鯖」「佐馬」「左馬」「左婆」など「さば」と言われる神社が11社あり、いずれも**左馬頭(さまのかみ)源義朝**が祭神として祀られています。(源義朝は頼朝、義経の父で平治の乱



で敗走の途中風呂場で討たれた。) この左馬社を含む七社は「相模の七鯖社」と呼ばれ、「相模七サバまいるり」等と称し一日でこの七左馬をお参りすることで疱瘡、麻疹(はしか)、百日咳などの悪病除けになるという。



ここは神社なのに梵鐘があり、神仏習合の姿を残しています。隣の西福寺が別当寺です。

- ⑤ **三叉路に石塔:**左馬社の少し先の三叉路の真ん中に囲われたエリアがあり、庚申塔、地神塔、道祖神が祀られています。



- ⑥ **宗川寺:**寛永2年(1625)、日蓮宗の日賢上人が駿河から江戸に布教の旅の途中に、この地の住人だった石川宗川の篤い信仰心に感じ入ったことから開山されたといわれるお寺です。



山門脇の2本のイチョウは横浜市名木古木の指定の**夫婦銀杏**で、古くから縁結び、安産・育児の信仰を集めています。

- ⑦ **不二家レストラン** この先に適当なレストランがないので少し早めの昼食となりますので、午後のコースの方がずっと長くなります。(午前 3km、午後 7.5km) 主なメニューは次の通り

- ・おすすめランチ：745 円、レディースプレートランチ：853 円
- ・2つのおかず定食(お好みのおかずを2品選ぶ)：1285 円
- ・ドリンクバー：270 円

- ⑧ **地神塔**: バス停「地神前」の少し先に地神塔があります。僅かに地神塔という文字と相州鎌倉郡瀬谷の文字が見えます。



- ⑨ **全通院勢至堂**: 開創は寛永年間(1624~23) 現在では徳善寺の別院となっている。当初は阿弥陀如来を祀っていたが、お告げによって発掘された勢至菩薩を本尊とした。本堂には瀬谷八福神の寿老人も祀られています。



かつて境内には瀬谷小学校の低学年児童のための分教場が設けられていました。また、「横浜市の名木古木」に指定されている藤の大樹があります。 今回は割愛します

- ⑩ **柳明(やなみょう)神社**: 柳明神社は、昔、上飯田町の伊勢山と呼ばれていたところにあった「お伊勢宮」で、神明社として地域の信仰を集めていましたが、鎌倉郡観音 24 番札所の大石寺(たいせきじ)が廃寺になった後、その場所に移転し、昭和 50 年に柳明神社と改められました。大石寺が廃寺になったとき本尊の十一面観音像を阿久和村の観音寺に預けました。その後、村に不幸が起ったため、境内に**観音堂**を建て観音像を安置したといえます。神社の境内には、山王塔、六地藏像、庚申塔があります。

また、神社裏には、神奈川道の道標を兼ねた**堅牢地神塔***が立っています。Google MAP で見る



とこの先の丁字路の所にありますが、移動したようです。

神奈川は宿場として、また湊として地域の文化的経済的中心であったので、周辺より神奈川へ通じる道は多く、すべて神奈川道といいました。

※**堅牢地神**：土地神様（とちかみさま）の信仰が仏教と結びついて十二天の一神、地天の別称である「堅牢地神」と結びついた。

⑪ **本興寺**：日蓮宗の本山で法華山本興寺といい、もとは鎌倉にあったが、慶長13年（1608）日経上人が「不受不施^{*}」を説いたため、江戸幕府からキリシタンと同様の弾圧に遭い、万治3年（1660）日蓮ゆかりの地であった上飯田の地に移されたものといわれています。

山門をくぐり、しばらく行くと、天明5年（1785）に建てられた仁王門と仁王像があります。本堂の唐破風の下には見事な彫刻があります。



また、本堂の欄間には**釈迦**、**日蓮**、**日什**の一代記の彫刻があります。寺の墓地には、当時の住職や南北朝時代の板碑が多く見られます。名木古木に指定されているイトヒバがあります。

※ **不受不施**：日蓮の思想の1つで、不受とは法華信者以外の布施を受けないこと、不施とは法華信者以外の供養を施さないこと。

⑫ **甲子塔** 甲子塔は、甲子講の人々が建てた供養塔である。甲子日待は、甲子(きのえね)の夜に、禍を転じて福を授けてくれる

大黒天を祀り、夜遅くまで飲食をともにしながら語り合う行事であった。

- ⑬ **飯田神社**：飯田神社は、相模川沿いに祀られているサバ神社の1社で、明治6年（1873）に上飯田村の村社に指定されています。境内には、横浜市の名木古木に指定されているヤブツバキや庚申塔、道祖神、地蔵などがあります。毎年1月14日には「さいと焼き」が行われます。

南	西	東
ふぢさは	あつき	かしを
		道

庚申塔の側面⇒

- ※ **さいとやき**：主に東日本で、小正月に道祖神を祀って行われる火祭り。正月の飾りものを焚きあげ、火の霊力により健康を祈る。「どんどやき」ともいわれる。

- ⑭ **無量寺**：無量寺は大山道沿いにあり、境内には大山道の道標を兼ねた名号碑があります（下見では見つからなかった）。

また、名木古木に指定されているイチヨウの古木や、寛政六年(1794)造立の「出羽三山・西国・板東・秩父百番札所」供養塔、元徳年間（1329～32）に造立された板碑などがあります。

- ⑮ 下飯田に入ると右側の古い道に入ると、昔ながらの風景が広がります。ここに立派な「美濃口家長屋門」があります。美濃口家は代々名主を勤め、村制をしかれてからは村長も勤めた家柄です。ここに、江戸時代の俳人「美濃口春鴻」関係の資料（横浜市の文化財）が納められています。



帰路 ゆめが丘駅から所沢へ：目標電車

15:49 相鉄線で横浜…16:27 西武球場前行き 所沢 17:43

~~~~~  
次回は、9月17日 ゆめが丘駅からJR藤沢駅までです。